

COG2025 応募内容確認書

ID	57-28-1
自治体名	愛媛県八幡浜市
自治体提示地域課題	高校生以下の児童生徒が主役となる地域が連携するまちづくり
チーム名	八高ラボ
アイデア名	廃校で鬼ごっこ!高校生が地域のきずなを創出する
チーム属性	学生：学生（ ）だけで構成されたチーム
チームメンバー数	4
代表者	濱田 梨愛
メンバー（公開）	濱田 梨愛, 宮本 麻衣, 岡花 美咲, 米井 菜花

【確認事項】

- < 応募のPDFファイル名と送付先 > 確認しました。
- < 応募内容の公開 > 確認しました。
- < 知的所有権・肖像権 > 確認しました。問題ありません。

基本情報

チーム名： 八高ラボ

アイデア名： 廃校で鬼ごっこ！ 高校生が地域のきずなを創出する

該当する自治体名： 愛媛県八幡浜市

自治体提示の地域課題： 高校生以下の児童生徒が主役となる地域が連携するまちづくり

廃校で鬼ごっこ！ 高校生が地域のきずなを創出する

1. アイデアの全体像（What）

○市民の満足度を高める 愛着 誇り

八幡浜市は、愛媛県最初の銀行が創設された土地です。明治時代には鉱業・海運業・紡績業などの商工業が発達し、第二次世界大戦後はトロール漁業の基地として発展してきました。現在は九州と四国を結ぶ港町、柑橘果樹の生産地、魚市場のある町として知られていますが、他の地方市町村と同じく人口減少とともに高齢化の問題を抱えています。このような状況の中で、コミュニティを維持し活性化するためには、市外から人を呼び込むのではなく、今住んでいる市民の満足度を高めることが必要だと考えます。八幡浜市への愛着や誇りを持ってもらうための行動が必要だと考えます。

○高校生が小学生、中学生とつながっていく

また、八幡浜市は、児童生徒数の減少と学校の小規模化に対応するために平成30年度から令和9年度までに学校再編整備を計画し、今年度（令和7年）、中学校を2校に再編し、来年度（令和8年）、小学校を10校に再編します。令和10年度には市内の県立学校が1校に統合されます。

このように地域から学校が消えていく中で、小・中・高の児童・生徒がつながりを持つイベントを私たち高校生が企画・運営します。八幡浜市の児童・生徒がイベントを通してつながり、自分たちの町を大切にしたいと思うきっかけづくりを行います。

○公民館とタッグを組む

地域のイベントに公民館の存在は欠かせません。八幡浜市には17の公民館があり、公民館まつり、運動会、文化祭、などのイベントや様々な活動を行っています。イベント時には数百人が訪れるそうです。公民館とタッグを組み、世代間の交流を地域全体の活性化につなげていくことを目的とします。



市役所の担当者と会議



公民館長・主事と会議

○イベント内容

何をするか

- ・ 廃校になった校舎を活用して、**宝探し鬼ごっこ**をする。
- ・ 市内の公民館が主催する文化祭のイベントの一部として開催する。

誰がするか

- ・ 八幡浜高校生（市内唯一の県立学校※令和10年度から）が企画・運営を行う。
- ・ 公民館と連携する。
- ・ 地域住民からも鬼役を募集する、

誰にするか

- ・ 市内の小中学生を対象に行う。

いつするか

- ・ 公民館の文化祭（例：千丈公民館の文化祭（3月の第一日曜日））
年に一回行う。

どこですか

- ・ 公民館の近くの廃校（例：八幡浜市立松柏中学校）

どのようにするか

宝探し鬼ごっこのルール

- ・ 1時間（休憩も適宜入れる）
- ・ 鬼は高校生と地域住民で、小中学生は鬼から逃げつつ、宝（5～8個）を探す。
参加人数次第で鬼の数、宝の数を調整する。
- ・ 宝を見つける度にアナウンスを流す。
- ・ 鬼に捕まったら、指定の教室で待機してもらう。
- ・ 時間内に宝を全て見つけることができれば小中学生の勝ちとする。



イメージ図 小学生と遊ぶ高校生

2. アイデアの理由 (Why)

1 市内の中学校、小学校、八幡浜高校にアンケートを行いました。

◇調査方法 インターネット経由でアンケートを配布・回収

◇八幡浜市内の小学4年生(2校)(35名)

八幡浜市内の中学1年生(2校)(165名)

八幡浜高校1年生(113名)

◇調査期間 2025年11月

(1) 八幡浜市の小学生・中学生の好きな遊びについて

(質問) 好きな遊びは何ですか。(記述形式、複数回答)

小学校				中学校			
順位	遊び	回答数	割合%	順位	遊び	回答数	割合%
1位	おにごっこ	12	26.1	1位	おにごっこ	52	25.2
2位	サッカー	9	21.1	2位	かくれんぼ	48	22.5
3位	氷鬼	8	17.2	3位	逃走中	38	17.8
3位	ドッジボール	8	17.2	4位	宝探し	20	9.3
5位	なわとび	5	14.6	5位	ドッジボール	18	8.4

(考察) 小学校・中学校共通して鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッジボールなど、友達と体を動かして遊ぶ外遊びを特に好むことが分かりました。個人で楽しむ遊びよりも、集団でワイワイできる活動の人気の高いことがわかります。

(2) 多世代交流の経験について

(質問) 学年の違う子供(小学生のほかの学年、中学生、高校生など)と遊んだり、大人と話したりすることについて聞きます。学校や地域で今までそのような経験がありますか。

	小学生		中学生		高校生	
選択肢	割合%		割合%		割合%	
何回もした	65.85	100%	44.4	92.3%	42.3	99.1%
少しした	34.15		47.9		56.8	
しなかった	0	0	7.7	7.7	0.9	0.9

(3) 多世代交流の意欲について

(質問1) 学年の違う子供〈小学校のほかの学年、中学生、高校生など〉と遊んだり、大人と話す時があればしたりしたいですか。

	小学校		中学校		高校生	
選択肢	割合%		割合%		割合%	
とてもしたい	54.15	100%	30.55	86.0%	40.5	91.9%
少ししたい	45.85		55.45		51.4	
したくない	0	0	14.0	14.0	8.1	8.1

(質問2) 八幡浜高校生が中心となって、八幡浜市役所と協力してイベントを企画・運営します。企画運営に参加したいですか。

選択肢	投票数	割合%	積極的的回答割合
とてもしたい	38	35%	85%
少ししたい	55	50%	
したくない	17	15%	15%

(考察)

多くの方が多世代交流の経験があることがわかりました。特に小学生は多世代交流をしたことがないと答えた人は0パーセントで、みな多世代交流を経験しているようです。

また、多くの高校生が企画運営に関して意欲があることがわかりました。これらから、企画に対して一定以上のニーズがあることが読み取れます。

2 公民館アンケート、千丈公民館へのインタビューを行いました。

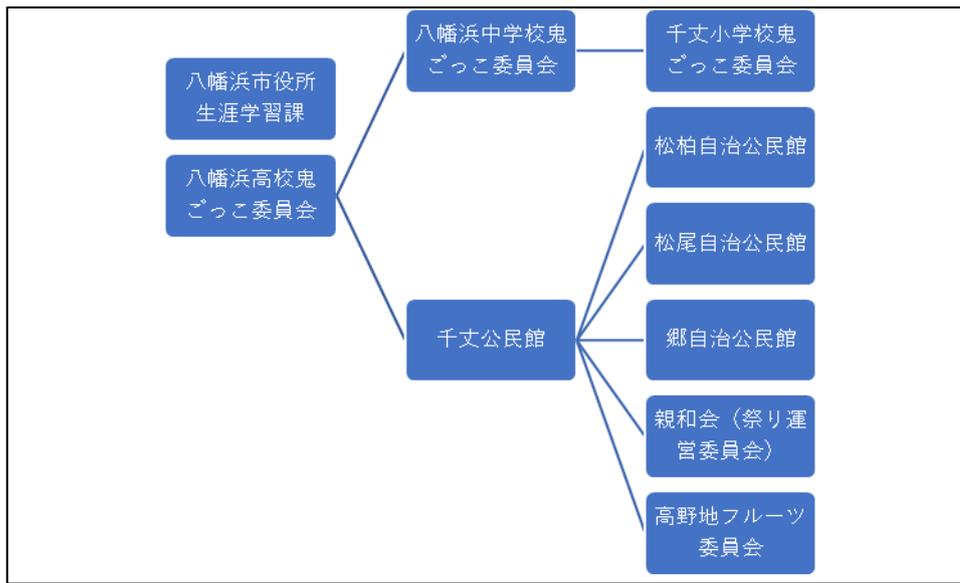
市内14の公民館に記述式のアンケートを行いました。アンケート結果から、主に4つの課題があることがわかりました。

1つ目は参加者が集まりにくいことです。特に若い世代の参加が少なく、行事が高齢者中心になりやすい点です。2つ目は運営スタッフの不足です。協力者の高齢化やボランティアの負担が重く、引き継ぎが難しいことが挙げられます。3つ目は企画のマンネリ化です。毎年似た内容になり、新しい参加者を引きつけにくくなっています。4つ目は予算の制約です。物価上昇などによりイベント運営の費用が増えていることが問題です。これらの課題から、公民館の活動を続けていくには、若い世代の関わりや新しいアイデアが必要だと考えられます。高校生が公民館のイベントに関わることで、課題とされている若い世代の参加少ないことが解決でき、イベントに新しい活気が生まれます。また、高齢化で不足しているスタッフの助けにもなり、マンネリ化していた企画を改善するきっかけにもなります。さらに、高校生自身も企画力やコミュニケーション力が身につくため、地域にとっても高校生にとってもメリットのある取り組みだと言えます。

3. 実現までの流れ (HOW)

3-1 実行組織図

八幡浜高校に鬼ごっこ委員会を創設 小学校・中学校にも委員会を創設
(例) 八幡浜中学校・千丈小学校鬼ごっこ委員会創設



3-2 必要な資源と調達方法

ヒト：必要人材・スキル確保方法

- ・八幡浜高校鬼ごっこ実行委員会が鬼、参加者、協力者を募る。
- ・実績のある会社に依頼する。

(参考) <https://tohdamanagement.com/2023/10/21/2250/>

廃校で逃走中！総勢 200 名が参加した大人と子どもの本気の鬼ごっこ | Tohda management

モノ：必要機材・設備・場所と調達方法

- ・廃校

カネ：資金規模と調達方法（補助金・寄付・収益）

八幡浜市に補助金の申請をします。

○がんばる市民応援補助金【上限 20 万円】

<https://www.city.yawatahama.ehime.jp/doc/2022062100014/>

○誘客活動等支援事業【上限 100 万円】

<https://www.city.yawatahama.ehime.jp/doc/2025041500027/>

また、クラウドファンディングや協賛企業を地域に呼びかけます。

3-3 実現までのプロセス

月	行うこと
4月	八幡浜高校実行委員会創設 補助金申請 Tohda management 等へ依頼
5月	公民館・小中学校、高校委員会・八幡浜市 第1回打ち合わせ(日時・場所決定)
6月	クラウドファンディング・協賛企業募集開始
7月	
8月	公民館・小中学校、高校委員会・八幡浜市 第2回打ち合わせ(内容・役割分担決定)
9月	
10月	
11月	
12月	公民館・小中学校、高校委員会・八幡浜市 第3回打ち合わせ(当日運営の確認)
1月	広報・告知 開始、参加者募集受付。SNS、学校・地域掲示板などで行う。
2月	
3月	開催

3-4 想定リスクとその対応策

参加者の怪我が予想される。

保健室にて養護教諭や地域の医療者が処置にあたる。またイベント傷害保険に加入する。